

## 平成28年度第1回技術講習会



講義始まる



工事事例に即して

経験豊富で知識・技能に優れたベテラン職員がいずれ職を去っていくことが予測され、次代の電気設備業界の中核を担う人材育成が求められている中、基礎知識・技術から最先端技術までニーズに即した講習を行い、会員の技術力アップを図るため、計画的に講習会を開催しています。

本年度も（一社）日本電設工業協会（以下「日電協」という。）の人材育成事業補助メニューの活用及び協会賛助会員との連携講習の2コースを計画しており、第1回目は、日電協メニューを活用し「自主検査と現場試験のポイント」をテーマとして開催しました。

講習会は平成28年8月24日（水）午後1時30分から4時30分まで兵庫県中央労働センターで開催し、講師は日電協から派遣された㈱きんでん技術本部安全品質保証部品品質保証チームチームリーダー宮本 洋氏及び同社神戸支店品質保証チームリーダー次長塩井大祐氏にお願いしました。

講習は、日電協発行の『電気設備の自主検査と現場試験』をテキストとして使用し、講義は、大きく分けて「電気設備の自主検査」と「電気設備工事の測定・試験」の観点から進められました。

自主検査においては、自主検査の動向を踏まえた現場内自主検査の計画立案、受入検査から工場立会検査に至る流れ、最終検査（竣工検査）の対象と検査内容などが講義されました。また、電気設備工事の測定・試験では、完成検査のあり方とそれを担保する測定のテクニックとしてのクランプ式測定器や新しい絶縁診断装置の使い方更には現場試験の実際として高圧受電設備、各種ケーブルの試験の要点等などの講義が行われました。

会員企業から参加のあった39名の受講者にとって、工事の高い品質を保証する上で必要とされる自主検査と現場試験について、日常、業務に追われる中で、改めて総合的、体系的に学ぶことができました。



講義の様子



熱心に聴講